

ナースィング セレモニー

2015年の誓い



看護学科第一回 ナースィングセレモニー 「2015年の誓い」

看護学科二年生の実習前壮行会「第一回ナースィングセレモニー2015年の誓い」を7月6日に真栄キャンパス体育館で実施いたしました。二年生が昨年から希望していた学友会行事で、本年度の看護学科新入生がこれに答える形で実施の運びとなりました。以前は看護を学ぶ学生には実習前に「戴帽式」がおこなわれていましたが、既に臨床の看護師はキャップを被らなくなっています。看護系大学では「戴帽式」に変わる行事が様々に工夫されていますが、本学では学友会の行事としてこれを行うこととし、入学して間もない一年生の本部会員が準備にあたりました。二年生85名分のLEDキャンドルを購入するために彼等は5軒もの店を探し回りました。予行練習には3時間あまりをかけました。二年生入場を先導する学生は、カンテラをかざしての歩みがどうしてもバックミュージックとあわず、何度も何度も練習していました。

当日のセレモニーは一年生の「先輩たちへ贈る言葉」に始まり、ステージに登壇して1年生から二年生一人ひとりに大学の名前入り記念ボールペンがその実習着の胸ポケットに差し入れられました。傳野学長の心のこもった激励の挨拶、学科長の厳しい中にも暖かい励ましの挨拶に続き、「2015年の誓い」が二年生によって宣言されました。

「私たちは、人間を総合的に理解し人の思いや暮らしと向き合いながら自らも成長していく人間力に富んだ看護師になることをここに誓います。」
夢への一歩は基礎実習から始まり、胸を張って、一年半学んできたことを信じ、がんばって下さい。





第2回 日本医療大学 体育大会開催

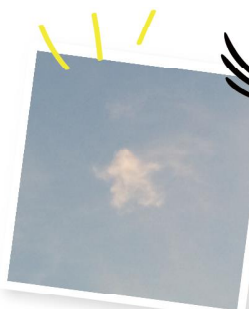
日本医療大学学友会主催「第2回日本医療大学体育大会」が、6月6日(土)に開催されました。会場は北海道立総合体育センター(北海きたえーる)サブアリーナで、学生、教職員200名あまりの参加者が、傳野学長の挨拶後、バレーボール、ドッジボール、フットサル、障害物競走、長縄の種目を競いました。準備期間一ヶ月あまりとは思えぬほどの運営の手際よさもさることながら、きたえーるの担当者からは「参加者がこれほど盛り上がった大学生の体育祭はめったにありませんよ」という評価!もいただきました。

学友会本部会、及び有志の学生で組織した実行委員会には心から拍手を送ります。特に看護学科二年の蔵合委員長のコーディネート力には感服しました。学生たちの学科、学年を超えた結束力の高さは、これからの学友会活動の充実が確信でき、教職員は学生の成長を再認識した一日でした。



高田課長の 写真館

星形の雲！
癒されます。



ハート型の
花火です。
夏の風物詩ですね。

笑顔というコンセプトでチーム愛称が「スマイルジャパン」、

川島…えー、とにかく「気持ちがあれば何でも出来る」です。

座右の銘はありますか？

川島…3月にスウェーデンに行き、8月の合宿で9月のロシア行きメンバーを決まりますが、メンバーになるため熾烈な状況です。

試合予定は？

川島…夏休みと体育祭が楽しみです(笑)。講義は難しいものもあるが、家で勉強する時間が他の人よりないので、授業を良く聞き、覚えたいという意欲があります。

アイスホッケーの魅力は？

川島…ほかの競技にはないスピード感と激しいあたりですがスビード感が一番の魅力です。

大変なことは怪我が多いのと、トレーニングがきついことです。大学生活はいかがですか？

川島…夏休みと体育祭が楽しみです(笑)。講義は難しいものもあるが、家で勉強する時間が他の人よりないので、授業を良く聞き、覚えたいという意欲があります。

試合予定は？

川島…3月にスウェーデンに行き、8月の合宿で9月のロシア行きメンバーを決まりますが、メンバーになるため熾烈な状況です。

座右の銘はありますか？

川島…えー、とにかく「気持ちがあれば何でも出来る」です。

川島…3月にスウェーデンに行き、8月の合宿で9月のロシア行きメンバーを決まりますが、メンバーになるため熾烈な状況です。

試合予定は？

川島…夏休みと体育祭が楽しみです(笑)。講義は難しいものもあるが、家で勉強する時間が他の人よりないので、授業を良く聞き、覚えたいという意欲があります。

アイスホッケーの魅力は？

川島…ほかの競技にはないスピード感と激しいあたりですがスビード感が一番の魅力です。

大変なことは怪我が多いのと、トレーニングがきついことです。大学生活はいかがですか？

川島…夏休みと体育祭が楽しみです(笑)。講義は難しいものもあるが、家で勉強する時間が他の人よりないので、授業を良く聞き、覚えたいという意欲があります。

試合予定は？

川島…3月にスウェーデンに行き、8月の合宿で9月のロシア行きメンバーを決まりますが、メンバーになるため熾烈な状況です。

座右の銘はありますか？

川島…えー、とにかく「気持ちがあれば何でも出来る」です。



アイスホッケー女子日本代表チームの指定強化選手として厳しいトレーニングと大学生活を両立させているリハビリテーション学科理学療法専攻一年生川島有紀子さんに高橋光彦先生がお話を伺いました。